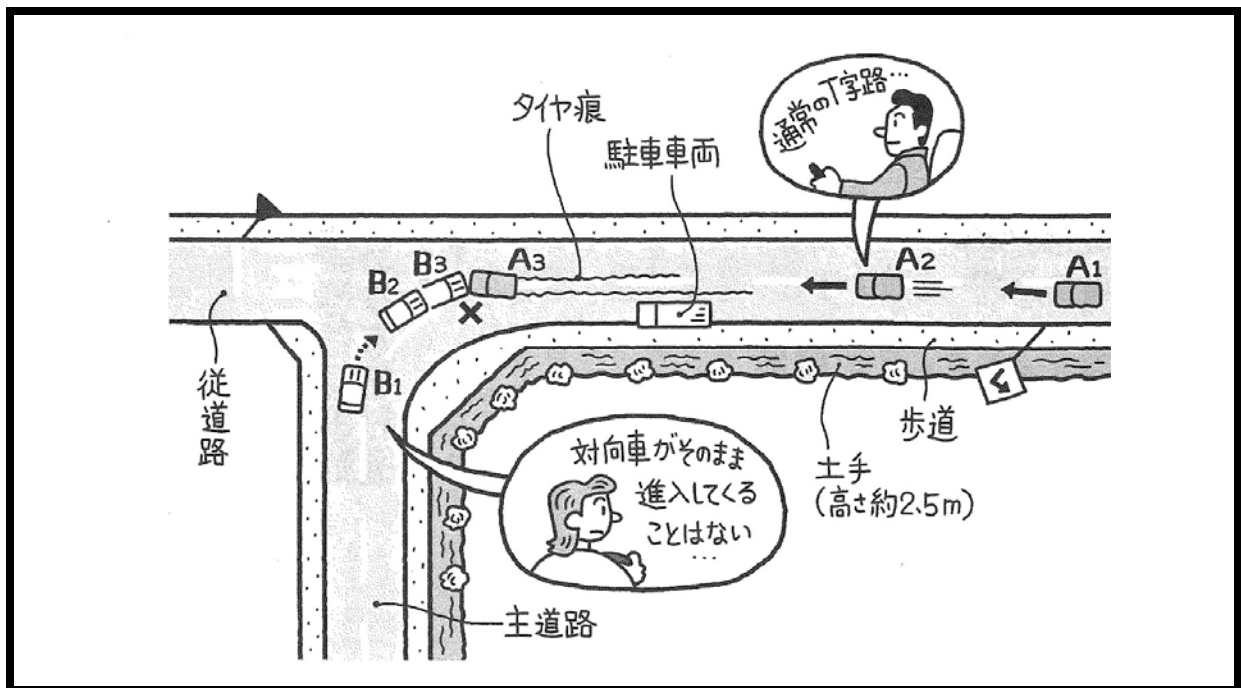


■事故の概況



事故類型：正面衝突

発生日時：平日 午前中

当事者Ａ：普通乗用車 30歳代 男性

当事者Ｂ：普通乗用車 20歳代 女性

■ 事故の概要

Aは主道路が左へ直角に曲がるＴ字路交差点にて駐車中のトラックを避けるため、センターラインをまたいで走行していました。そのためもあってか当該交差点を通常のＴ字路同様、直進車が優先と錯覚し直進してしまいました。

対向車を運転していたBはこの交差点をよく知っており、交差点手前から減速し徐行運転していました。

Aは交差点に進入した時点でB車に気づき、急ブレーキを掛けましたが間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故の主たる原因はＴ字路交差点において、主道路が直角に曲がっていることをAが見誤ったことです。よく注意をしていれば、手前には左カーブの標識が立っており、センターラインも左方に曲がって描かれているのを読み取ることができます。

初めて通行する道路においては前方の交通状況や道路構造がどのようなになっているのか、わかりにくい場合があります。

その上、道路状況や気象状況などの阻害要因がある場合はさらに難しくなります。

このような状況では、対向車の有無、動静によりいっそうの注意を払いましょう。